



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <https://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 将也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松本 千代子 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	104,304	6.7	10,379	78.2	11,060	64.4	8,400	76.4
2020年3月期第1四半期	97,758	1.0	5,824	△10.2	6,727	△6.6	4,761	△6.8

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 7,954百万円 (906.8%) 2020年3月期第1四半期 790百万円 (△92.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	82.26	—
2020年3月期第1四半期	46.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	403,301	321,787	76.9
2020年3月期	402,608	317,994	76.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 310,265百万円 2020年3月期 306,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	207,000	4.4	14,000	20.0	15,000	13.4	12,000	25.4	117.50
通期	426,000	2.4	30,500	7.6	33,000	5.3	26,000	11.2	254.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	110,881,044株	2020年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	8,752,784株	2020年3月期	8,752,690株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	102,128,323株	2020年3月期1Q	102,128,706株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、極めて厳しい状況にありました。先行きにつきましては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルが段階的に引き上げられていく中で、持ち直しに向かうことが期待されますが、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は104,304百万円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益は10,379百万円（前年同四半期比78.2%増）、経常利益は11,060百万円（前年同四半期比64.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,400百万円（前年同四半期比76.4%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末の為替換算レートは、107.71円/米ドル（前第1四半期連結累計期間末は、107.75円/米ドル）であります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

水産食品事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての外出自粛等による影響で、一部スーパーマーケット向けの需要は高まりましたが、コンビニエンスストア、外食、ホテル向け需要が減退し販売数量が減少しました。また、主力の鮭鱒の市況価格の下落や近海魚の漁獲不良の影響により減収となりました。その結果、売上高は6,860百万円（前年同四半期比7.2%減）、セグメント利益は、人件費、減価償却費の増加はありましたが、前年における棚卸資産の評価見直しの影響や適正価格での販売を進めたことにより213百万円（前年同四半期比929.2%増）となりました。

海外即席麺事業は、米国では既存取引先との取り組み強化と新規取引先への販売に加え、新型コロナウイルス感染症拡大により即席麺の需要が高まったことで、主力商品の袋麺「Ramen」シリーズ、カップ麺「Instant Lunch」シリーズの販売数量が好調に推移し、増収となりました。メキシコではペソ安の影響等により主力のカップ麺の販売数量は前年を下回りましたが、袋麺が好調に推移したことや2020年1月に実施した価格改定の効果もあり、増収となりました。その結果、売上高は23,682百万円（前年同四半期比19.8%増）、セグメント利益は、物流費、人件費の増加はありましたが、販売数量の増加、原材料費の減少、販売促進費の抑制等により4,599百万円（前年同四半期比75.2%増）となりました。

国内即席麺事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての外出自粛等による影響で、家庭での喫食機会が増加したことで需要が高まりました。カップ麺では「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」等の和風シリーズに加え、「ごつ盛り」シリーズ、新商品を積極的に投入した「MARUCHAN QTTA」シリーズが好調に推移しましたが、カップ麺全体では減収となりました。袋麺では「マルちゃん正麺」シリーズを中心に好調に推移し、増収となりました。その結果、売上高は30,945百万円（前年同四半期比5.4%増）、セグメント利益は、人件費等の増加はありましたが、原材料費、販売促進費、広告宣伝費等の減少により3,495百万円（前年同四半期比146.6%増）となりました。

低温食品事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての外出自粛等による影響で、外食向け等の業務用商品の販売が縮小しましたが、家庭での喫食機会が増加したことで、市販用商品の需要が高まりました。生麺では「マルちゃん焼そば3人前」シリーズを始め、うどん、ラーメン類等の主力商品を中心に好調に推移しました。また、昨年度大きく売上を伸ばした「パリパリ無限」シリーズも順調に推移しました。チルド食品類では市販用商品を中心に好調に推移しましたが、冷凍食品類では業務用商品の需要縮小により、前年を下回りました。その結果、売上高は20,757百万円（前年同四半期比12.0%増）、セグメント利益は、売上高の増加、原材料費の減少等により2,009百万円（前年同四半期比39.3%増）となりました。

加工食品事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての外出自粛等による影響で、家庭での喫食機会が増加したことで、米飯では「あったかごはん」等の白飯シリーズ、「ふっくらお赤飯」等の味付けごはんシリーズ、「玄米ごはん」等の健康系シリーズ、フリーズドライ商品では5食入り袋スープ「素材のチカラ」シリーズ等が好調に推移しました。その結果、売上高は5,977百万円（前年同四半期比14.1%増）、セグメント損失は、人件費、減価償却費等の増加もあり182百万円（前年同四半期はセグメント損失318百万円）となりました。

冷蔵事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により業務用商品を中心に荷動きが低調となりましたが、高い在庫水準を維持出来たことや2020年5月に竣工した石狩新港物流センターの稼働効果に加え、通関・運送等の取扱いも堅調に推移しました。その結果、売上高は5,389百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント利益は新冷蔵庫稼働に伴う減価償却費や人件費等の増加により273百万円（前年同四半期比19.1%減）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は10,691百万円（前年同四半期比14.1%減）、セグメント利益は208百万円（前年同四半期比53.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は692百万円増加し403,301百万円、純資産は3,793百万円増加し321,787百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に受取手形及び売掛金は減少しましたが、現金及び預金、建物及び構築物が増加しました。負債は、主に未払費用が減少しました。純資産は、主に利益剰余金が増加しました。

この結果、自己資本比率は76.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期等が不透明であり、現時点で連結業績予想への影響を合理的に算定することが困難であるため、2020年5月15日に発表した見直しを変更しておりません。今後、修正が必要となった場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	112,754	114,692
受取手形及び売掛金	57,106	51,717
有価証券	23,000	23,000
商品及び製品	13,598	15,325
仕掛品	347	370
原材料及び貯蔵品	6,062	6,601
その他	3,412	3,834
貸倒引当金	△649	△635
流動資産合計	215,632	214,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	72,706	77,104
機械装置及び運搬具(純額)	37,521	38,122
土地	34,976	34,958
リース資産(純額)	2,538	2,453
建設仮勘定	7,233	3,423
その他(純額)	1,204	1,358
有形固定資産合計	156,181	157,420
無形固定資産		
その他	1,443	1,374
無形固定資産合計	1,443	1,374
投資その他の資産		
投資有価証券	27,018	27,454
繰延税金資産	1,377	1,213
退職給付に係る資産	63	57
その他	891	874
投資その他の資産合計	29,351	29,600
固定資産合計	186,976	188,395
資産合計	402,608	403,301

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,531	27,313
短期借入金	324	342
リース債務	310	316
未払費用	23,246	19,449
未払法人税等	4,555	2,618
役員賞与引当金	143	69
その他	2,544	2,791
流動負債合計	56,656	52,901
固定負債		
リース債務	3,734	3,681
繰延税金負債	2,185	2,856
役員退職慰労引当金	326	312
退職給付に係る負債	20,303	20,361
資産除去債務	212	213
その他	1,196	1,187
固定負債合計	27,958	28,611
負債合計	84,614	81,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,942	22,942
利益剰余金	268,100	272,416
自己株式	△8,230	△8,231
株主資本合計	301,781	306,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,372	7,681
繰延ヘッジ損益	11	3
為替換算調整勘定	37	△1,065
退職給付に係る調整累計額	△2,555	△2,451
その他の包括利益累計額合計	4,866	4,169
非支配株主持分	11,345	11,521
純資産合計	317,994	321,787
負債純資産合計	402,608	403,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	97,758	104,304
売上原価	62,513	63,011
売上総利益	35,244	41,293
販売費及び一般管理費	29,420	30,913
営業利益	5,824	10,379
営業外収益		
受取利息	523	364
受取配当金	242	258
持分法による投資利益	28	—
雑収入	252	261
営業外収益合計	1,047	884
営業外費用		
支払利息	62	60
持分法による投資損失	—	108
雑損失	81	34
営業外費用合計	143	204
経常利益	6,727	11,060
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	92	836
その他	19	1
特別利益合計	113	838
特別損失		
固定資産除売却損	118	69
その他	18	2
特別損失合計	137	71
税金等調整前四半期純利益	6,704	11,826
法人税、住民税及び事業税	1,376	2,632
法人税等調整額	453	649
法人税等合計	1,829	3,282
四半期純利益	4,874	8,543
非支配株主に帰属する四半期純利益	112	143
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,761	8,400

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	4,874	8,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,171	366
繰延ヘッジ損益	△18	△7
為替換算調整勘定	△2,919	△1,103
退職給付に係る調整額	20	110
持分法適用会社に対する持分相当額	5	44
その他の包括利益合計	△4,084	△589
四半期包括利益	790	7,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	684	7,702
非支配株主に係る四半期包括利益	105	251

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	7,396	19,761	29,356	18,537	5,241	5,020	85,314	12,444	97,758	-	97,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	226	-	-	-	-	284	511	21	533	△533	-
計	7,623	19,761	29,356	18,537	5,241	5,305	85,825	12,466	98,291	△533	97,758
セグメント利益 又は損失(△)	20	2,624	1,417	1,443	△318	337	5,525	448	5,973	△149	5,824

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△149百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△290百万円、棚卸資産の調整額21百万円及びその他の調整額119百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	6,860	23,682	30,945	20,757	5,977	5,389	93,613	10,691	104,304	-	104,304
セグメント間の内部 売上高又は振替高	249	-	-	1	-	271	522	5	527	△527	-
計	7,109	23,682	30,945	20,758	5,977	5,661	94,135	10,696	104,832	△527	104,304
セグメント利益 又は損失(△)	213	4,599	3,495	2,009	△182	273	10,408	208	10,617	△237	10,379

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△237百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△309百万円、棚卸資産の調整額△56百万円及びその他の調整額128百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料の相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。